

小学校名：中央区立月島第三小学校 所在地：中央区晴海1-4-1

校長：鈴木 潤

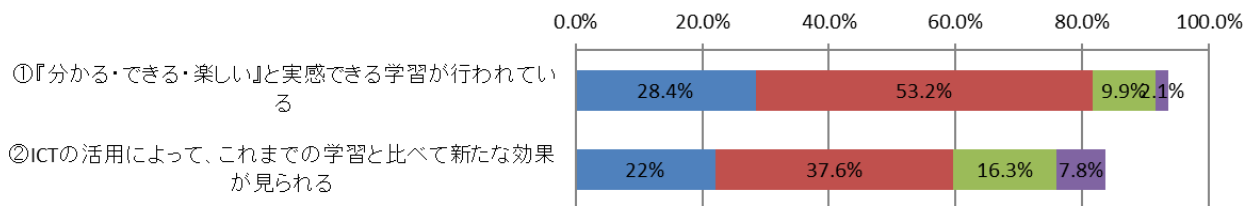
児童数：811名 学級数：26学級 教職員数：39名 (R7.2.1現在)

1 重点目標の達成状況及び取組状況【保護者回答数 141、教職員回答数 33】

【保護者】

重点目標1（基礎学力の定着と学力の向上を図る）

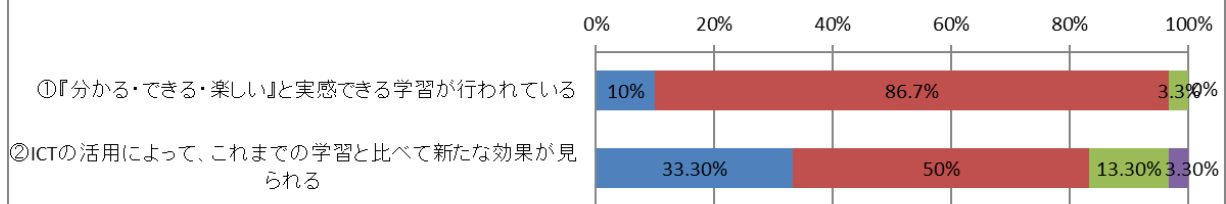
■ 十分達成している ■ 達成している ■ 改善を要する ■ 緊急に改善を要する



【教職員】

重点目標1（基礎学力の定着と学力の向上を図る）

■ 十分達成している ■ 達成している ■ 改善を要する ■ 緊急に改善を要する



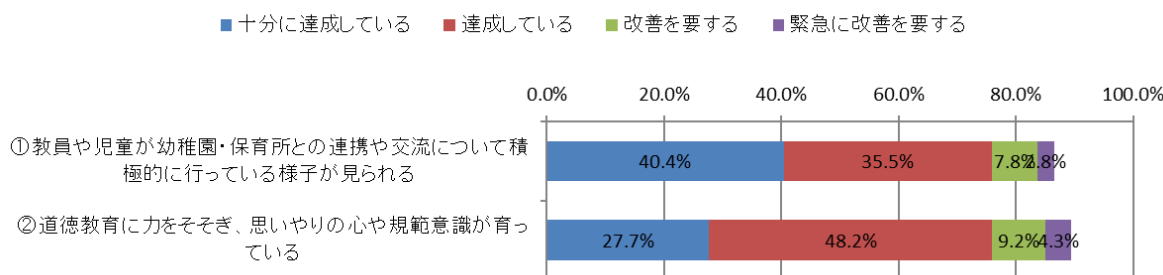
重点目標1「基礎学力の定着と学力の向上を図る」

「『分かる・できる・楽しい』と実感できる学習が行われている」の項目について「十分達成している」「達成している」が保護者81.6%であった。昨年度とほぼ同じ割合であった。子どもたちが分かる・できる・楽しいと実感できる授業を行うため、その時間のめあてを明確にし、自分の考えをもつ時間をしっかり確保し、考えをより深めたり、広げたり、活かしたりする話し合い活動を行ってきた。その様子が保護者に伝わるように classroom 等を活用するなど工夫をしていきたい。

「ICTの活用によって、これまでの学習と比べて新たな効果が見られる」の項目について「十分達成している」「達成している」が保護者59.6%であった。昨年度より低くなっている。また、「分からない」という回答が16%と多かった。ICTを活用した学習については、日常的に定着をしている。さらに、タブレット端末を活用した話し合いや発表資料を作成するなど学習の広がり、深まりが見られており、学習への意欲は見られている。これまでの学習との違いやICTを活用した学習の良さをさらに伝えていく必要がある。

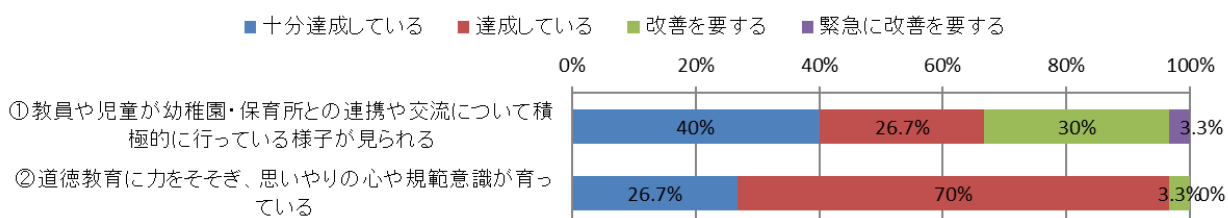
【保護者】

重点目標2（共に生きる力を育てる）



【教職員】

重点目標2（共に生きる力を育てる）



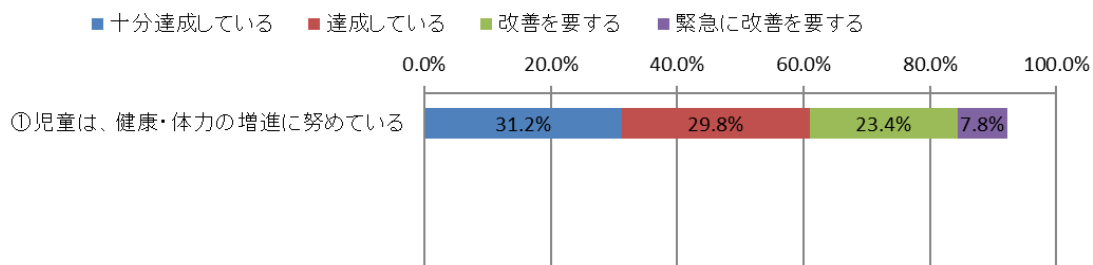
重点目標2の「共に生きる力を育てる」

「教員や児童が幼稚園・保育所との連携や交流について積極的に行っている様子が見られる」の項目について「十分達成している」「達成している」が保護者 75.9%、教員 66.7%であった。昨年度と比べ教員の評価が低かった。児童は、1年生と5年生が幼稚園・保育所と交流をしている。また、教員は幼稚園・保育所と連携を行っており、授業参観や保育所見学、情報交換を行い、園児がスムーズに小学校生活になじむように連携を強化している。よりよい実践を保護者・地域に発信していくようにする。

「道徳教育に力をそそぎ、思いやりの心や規範意識が育っている」の評価が「十分達成している」「達成している」が保護者 75.9%であった。昨年度と同程度であった。ルール of 徹底をし、さらに実践力を身に付けるために、道徳の授業と日々の生活を関連付けるとともに、教育活動全体で指導をしていかなければならない。また、道徳授業地区公開講座の弁護士によるいじめに関する講演は、参加された保護者より評価をいただいている。また、登校・下校時の交通ルールや放課後の遊び方について課題が多いため、次年度は重点的に指導をする。次年度以降も意図的・計画的に思いやりの心を育む指導や規範意識を育てる指導を行う。

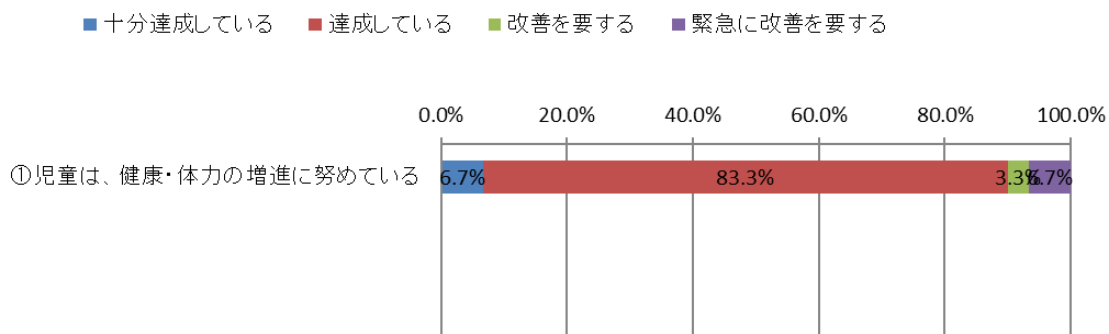
【保護者】

重点目標3（健康な体と体力の向上を図る）



【教職員】

重点目標3（健康な体と体力の向上を図る）



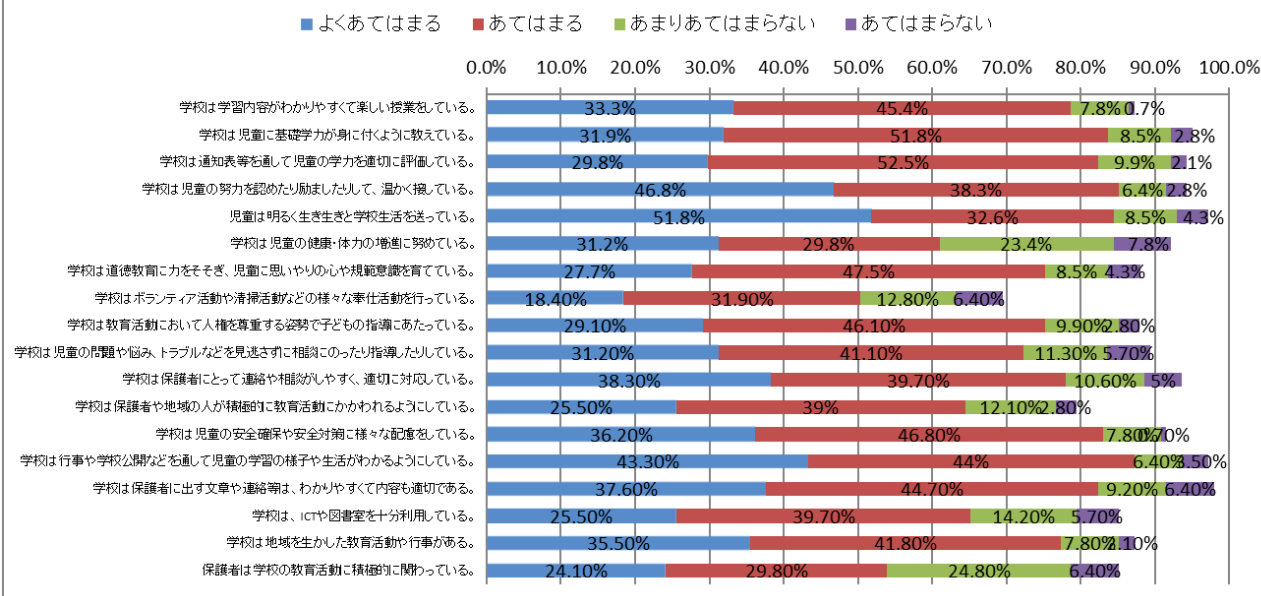
重点目標3「健康な体と体力の向上を図る」

「児童は、健康・体力の増進に努めている」の項目について「十分達成している」「達成している」が61%、教員90%の評価であった。昨年度に比べ児童数、クラス数の減少もあり、校庭や体育館など現在の環境の中、体育や休み時間の運動量の確保ができています。体力向上の取組等について、保護者・地域に情報を発信し、理解を深めてもらうことが課題である。

2 全体の評価における達成状況及び取組状況

【保護者】

令和6年度 保護者アンケート達成状況(全体評価)



全ての項目で「よくあてはまる」「あてはまる」の回答が18項目中7項目で概ね80%を越えた。昨年度と同程度である。しかし、回答しづらい割合が高い項目や十分な評価を得られていない面もある。

肯定的な意見が高かった「学校は児童の努力を認めたり、励ましたりして、温かく接している。」「学校は行事や学校公開などを通して児童の学習の様子や生活がわかるようにしている」の項目では、肯定的な意見が85%を超える評価となっている。教育活動の発信方法についてclassroomやHPをさらに活用していく。

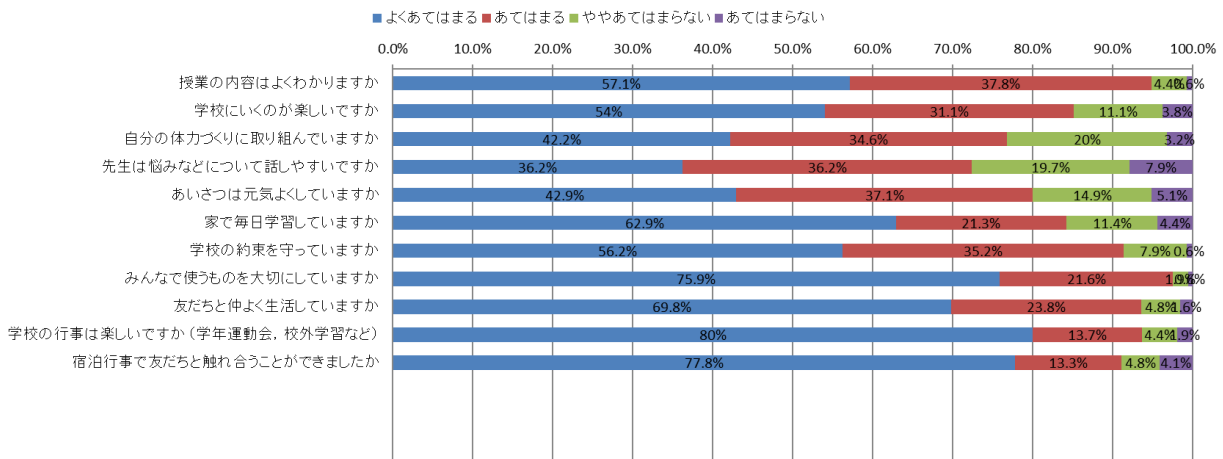
学習面に関連する項目の「学校は学習内容がわかりやすく楽しい授業をしている」「学校は児童に基礎学力が身に付くように教えている。」「学校は通知表等を通して児童の学力を適切に評価している」「児童は明るく生き生きと学校生活を送っている」については「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した保護者が80%前後と、教員の授業内容、基礎学力の定着、適切な評価について理解を得られている。教員が基礎基本の定着を図ってきた結果と考える。

「学校は保護者にとって連絡や相談がしやすく、適切に対応している」の肯定的な回答は78%と一定の評価を得たと考えているが、「学校は児童の問題や悩み、トラブルなどを見逃さずに相談にのったり指導したりしている」の肯定的な回答は78%であった。昨年度は66%であった。今後も学校と保護者が連携をとり、解決に至るまで、児童・保護者に寄り添っていくようにしなければならない。また、児童の人権に配慮し、いじめの未然防止や早期発見、不登校対策、児童虐待の防止等、教員個人の力に頼った教育ではなく、関係諸機関と連携し組織的に対応できるようにする。

「学校は、ICTや図書室を十分利用している」の肯定的な回答は、65%程度で昨年度と同等であった。この項目については、タブレットや図書室を活用し、効果的な学習を行っているかという内容である。図書室は週1時間利用できるよう時間割に組み入れている。

ボランティア活動、地域活動等人との関わりに関する項目について、50%が肯定的であった。ボランティア活動に難しさを感じている。本校にできる活動については、要検討していく。

令和6年度 児童アンケート集計



【児童】(4～6年)

「授業の内容はよくわかりますか」については95%近くが「よい」と評価している。昨年度は91%近くだったため、評価が上がっている。達成感や満足感を得て、自信をつけ、今後も「わかる、できる、楽しい」授業をめざしていきたいと考える。また、「学校の約束を守っていますか」「みんなで使う物を大切にしていますか」では、90%を超えており、規律を重んじる姿勢がみられている。「友だちと仲良く生活をしていますか」「学校の行事は楽しいですか」「宿泊行事で友だちと触れ合うことができましたか」も、90%を超えており、学校生活が豊かであったことがうかがえる。

「自分の体力づくりに取り組んでいますか」の項目では、肯定的な回答が、76%であった。自らの体を知り、体力向上の目標を設定しながら、体育の授業内での基礎体力作りを計画・実施をしていく。また、来年度は、本校のマイスクールスポーツとして、水泳・縄跳びを行う。さらに工夫して取り組んでいきたい。

「先生は悩みなどについて話しやすいか」の項目では、肯定的な回答が72%と昨年度の65%を上回った。担任だけでなく、同学年や専科、スクールカウンセラーなど、全教員で話しやすい雰囲気を作り、複数で一人一人の様子を観察することを行う。悩み等あった場合、しっかりと児童の話を聞いて問題解決を図る。子どもたちが話して良かったと思えるように信頼関係を築いていく。